

だめか報

2/1

No. 324

毎月1日・15日発行

発行 新潟県亀田町役場 ☎(81)-2111(代)

編集 企画課



どうせめようかな

—とじて保存しましょう—

熱気あふれる 子ども将棋大会

新春恒例の子ども将棋大会が、1月13日午前10時から公民館大ホールで開催されました。

当日は雪がちらつくなか、約60人の豆棋士が参加。会場は熱気があふれ真剣そのものでした。

試合は「星のつぶしあい」のなかで進められ、例年になり充実した楽しい大会となりました。

入賞者は次のとおりです。

(敬称略)

◇小学生の部

- 1位 齋藤 晴彦
- 2位 岡本 任弘
- 3位 藤田 亘

◇中学生の部

- 1位 岩浅 健一
- 2位 吉田 英明
- 3位 池田 和哉

- 2頁・十二月定例会一般質問
- 3頁・昭和五十八年度決算国保会計、下水道会計
- 4頁・老人保健会計決算・所得税の確定申告は正しくお早めに。
- 5頁・交通災害共済更新手続きを忘れないで。踏切では一時停止して安全を確認しましょう
- 6、7頁・はばたく新成人 三百五十九人
- 8頁・豪雨時の排水対策 亀田郷湛水防除事業
- 9頁・随想、俳句、短歌
- 10頁・保健課二月の予定

おもな記事

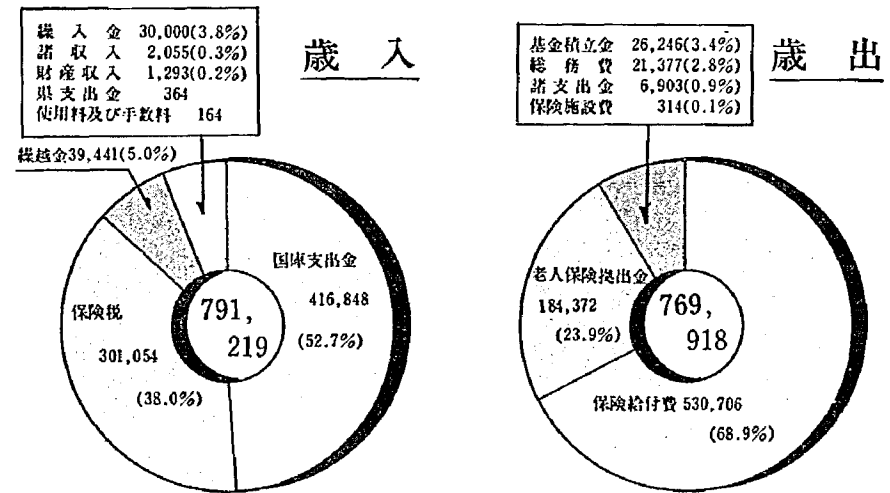
人口のうごき

世帯数 7,605(+1) 60.1.1現在

区分	人口	出生	死亡	転入	転出
総数	28,885(+3)	20	11	64	70
男	14,021(+3)	13	6	33	37
女	14,864	7	5	31	33

住民登録人口 ()は前月比

国保会計決算の内訳 (単位:千円)



決算の規模
歳入総額は、七億九、九一八千九百九十九円です。
歳出総額は、七億六、九一八千九百九十九円です。
差引き、二、三〇〇万一千円、黒字となり翌年度へ繰越します。

昭和五十八年度決算

国保会計二、一三〇万円の黒字

保険給付費六八・九パーを占める

歳入

歳入構成の主なものは、国庫支出金が五二・七割で四億一、六八四万八千円です。また、保険税は三八割三億一〇五万四千円、繰越金は五割三、九四四万一千円として一般会計繰入金は、三・八割で三、〇〇〇万円などです。国庫支出金の内訳は、事

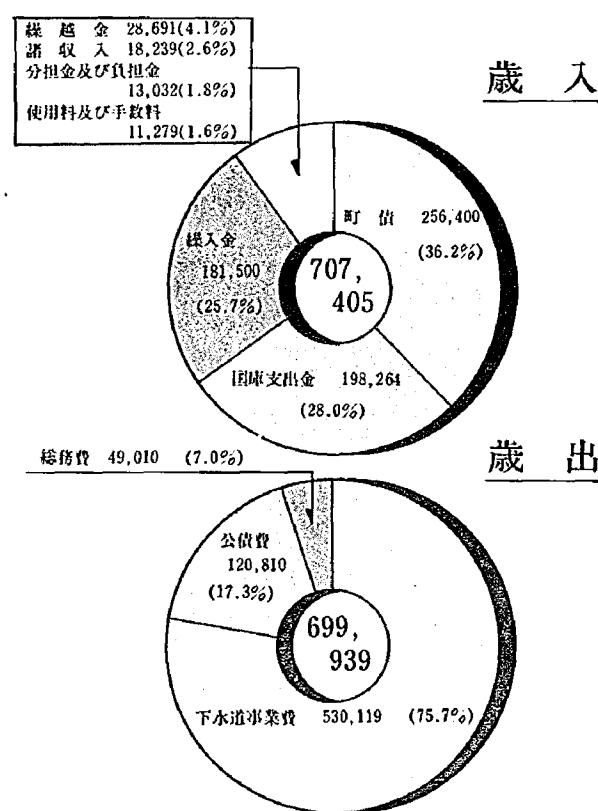
歳出

歳出総額七億六、九一八千九百九十九円、うち六八・九割にあたる五億三、〇七〇万六千円は保険給付費です。また、高額療養費は被保険者負担額のうち一か月五、〇〇〇円を越えた額を七六〇件四、二一〇万六千円を支出しました。



すこやかな成長を願って(4か月健診)

下水道会計決算の内訳 (単位:千円)



下水道会計決算

幹線、枝線管きょ工事など施工

歳入
歳入の主要財源である国庫支出金は一億九、八二六万四千円、歳入総額の二八割です。内訳は、国庫補助金一億八、三〇〇万円と昭和五十六年度および昭和五十七年度の繰越金一、五二六万四千円です。

歳入

歳出
下水道事業費のうち工事請負費は四億五、〇四〇万円です。これは、昭和五十七年度に引続いて中部第一汚水一号幹線、長原原雨水幹線築造工事と枝線管きょ築造工事の工事費です。総務費は、信濃川下流々域下水道工事県負担金が主なもので、四、九〇一万円となっています。

決算の規模
昭和五十八年度は昭和五十七年度の継続事業として汚水管の幹線管きょ工事、枝線管きょ工事、雨水管きょ工事を施工しました。歳入総額は七億七四〇万五千円、歳出総額は六億九、九九三万九千円、差引き七四六万六千円の黒字となり翌年度へ繰越します。

歳出

十七年度事業に係る新産業都市等事業補助金一、五二六万四千円です。町債は二億五、六四〇万円、歳入総額の三六・二割です。繰入金一億八、一五〇万円は、一般会計の繰入で歳入総額の二五・七割です。

十二月定例会一般質問

◇十月町定例会は、十二月十八日、町政報告と一般質問が行われましたので、その中から主なものを紹介いたします。◇

公共下水道枝線管きょ築造工事 入札を十二月八日執行

町政報告

▽下水道関係：公共下水道の枝線管きょ築造工事に伴う入札を十二月八日執行しました。工事の場所は、旭東本町、本町、新明町地内です。入札の結果は、七業者で合計契約金額は八、四〇〇万円です。布設管の延長は一、二七四メートルで処理面積は五・四畝の予定です。▽水道関係：第五次拡張事業



管きょ築造工事

私立の高校生就学奨励費 支給方法は

議員：私立の高校生に対する就学奨励費の一部補助が、今年度から制度化されました。

ちびっ子広場の設置は

議員：町では、ちびっ子広場あるいは公園の設置を進めている。地権者がいる空き地を借りて使用料、固定資産税を町がはらって、ちびっ子広場を設ける考えは。

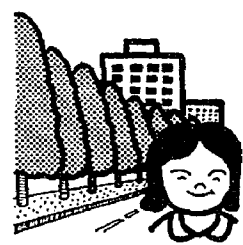
助役：町では、開発によって隅の方に空き地があまり。そのなかで、ある程度の地権者がいるわけですが、新開地の空き地には、草ば

新年度の予算編成 主な事業は

議員：昭和六十年度の予算編成を目前にして、来年度の主な事業としてどのようなものを考えていますか。できれば、町長の考えを聞かせていただきたい。町長：来年度の事業ですが、全般的な整理をしていますが、めぼしいものはありませんが、新しいものを申しあげたいと思います。また、各課の方から新しい事業に対する計画も出てくると思いますが、財政とにらみ合せて再検討したい

今月の納税 保険税6期分

2月28日までに忘れずに



うぼうになつているところもあり、これからの活用については、今後十分検討したいと思います。

袋津地区に公園を確保したい

議員：袋津地区に公園を確保したいという話がありました。候補地でもわかりませんが、候補地でもないと思えますが、お聞かせ願いたい。町長：公園用地については、位置、土地価格という問題をいろいろ考慮し、袋津の苗代地帯に求めていきたいと思ひます。

歳時記

立春を過ぎると、暦の上はもう春。とは言っても、外はまだまだ冬景色。そんな中で香り高く咲くのが梅の花。

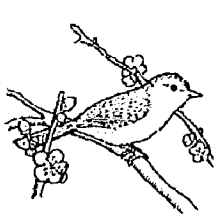
梅

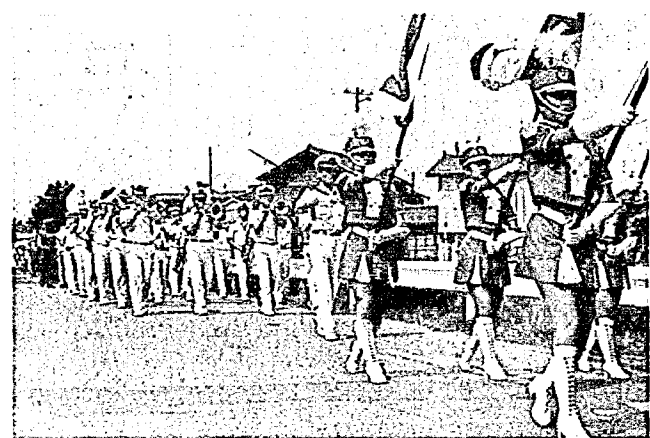
歳時記の中で梅は、早春の花として扱われています。一方、冬の終りごろ、日当たりのよい場所に咲く早咲きの梅は、冬の季節とされています。

江戸時代に入ると、桜の花見はもろんでしたが、梅の花見も盛んになった。戦時中は、桜の葉がたたえられて桜全盛。そして最近では、「桜まつり」も盛んですが、「梅まつり」ももてはやされています。

梅と桜とどちらが好きかは、その人の好みにもよりますが、時代によっても流行があるようです。奈良時代には梅が好まれていたとみえて、万葉集には梅を詠んだものが百首も登場するのに対し、桜は四十首。ところが、平安時代の古今和歌集に

その理由は、梅のほうが桜より花期が長いので、観光宣伝をやりやすいことや、バスツアー、団体旅行も計画しやすいからでしょう。梅も世につれ





交通事故絶滅を願って

万一の事故に備えて

一日一円の交通災害共済

更新手続きを忘れないで

昨年加入していただきました、昭和五十九年度の交通災害共済期間が三月三十一日で終りになります。町では、十二月末現在で一九、二八六人の加入者(六七割)のみなさんが加入されています。

交通事故絶滅の願いもむなく、なかなか事故は減りません。

万一の事故に備えて、一日一円の安い掛金でお互いが助け合う交通災害共済に家族そろって加入されますようにおすすしめします。

♡加入できる人
 亀田町に在住する人はどなたでも加入できます。

♡掛金
 一人年額三百五十円で中途加入の場合も同額



踏切では一時停止して安全を確認しましょう

雪が降ると、交通量が減少する、スピードが物理的に減りますが、逆に踏切事故は増加する傾向にあります。

踏切の通行は急がずに、家路を急ぐあまり、踏切の先が混雑しているのに無理に踏切内に入り、列車と衝突するというケースがあります。踏切への進入は前方の交通状況を良く確かめ、踏切内で立往生することのないようにしましょう。

踏切通過はローギヤで、踏切上のギヤチェンジはエンジンの原因になります。踏切は、ローギヤのまま通過しましょう。空ぶかしも禁物です。

狭い踏切では、無理に通

2月の交通指導目標

- 歩行者の事故防止 (一時停止と安全確認) (スリップ事故防止)
- 踏切事故の防止 (踏切では一時停止して安全確認)

♡共済期間
 毎年四月一日から翌年三月三十一日まで。(中途加入の場合は加入月の翌日から)

♡見舞金は
 自動車、バイク、自転車など通行中の人身事故で、死亡、あるいは実治療日数七日以上とき見舞金が支給されます。

申請は事故発生の日から一年以内です。

♡加入手続き
 町では、区長さんを通じて全世帯にチラシと加入申込書を配布しますから、三枚複写に記入のうえ、現金一人三百五十円を添えて二月二十日まで区長さんへ申し込みください。

なお、二月二十日以前に個人で住民課へ申し込みされる方がありますが、必ず区長さんへ申し込みください。

等級	災害の程度	金額
1等級	死亡した場合	1,000,000円
2等級	自賠責施行令別表の等級区分の1級各号に掲げる傷害の場合	700,000円
3等級	治療を要した期間が6か月をこえ、かつ入院日数30日以上かつ治療日数90日以上	150,000円
4等級	治療を要した期間が5か月をこえ、かつ入院日数21日以上かつ治療日数75日以上	120,000円
5等級	治療を要した期間が4か月をこえ、かつ入院日数14日以上かつ治療日数60日以上	100,000円
6等級	治療を要した期間が3か月をこえ、かつ入院日数7日以上かつ治療日数45日以上	80,000円
7等級	治療を要した期間が2か月をこえ、かつ入院日数3日以上かつ治療日数30日以上	60,000円
8等級	治療を要した期間が1か月をこえ、かつ入院日数1日以上かつ治療日数15日以上	40,000円
9等級	入院・通院の実治療日数7日以上	20,000円

踏切非常ボタンなど活用を

不幸にして踏切内でエンストしたり、落輪して車が動かなくなったら、自動車の移動より先に先ず列車を止めるようにしましょう。

雪が降ると踏切付近は、雪壁が見通しが悪く安全確認がむづかしくなります。窓を開けて、目と耳で安全を確認めたり、同乗者がいるときは誘導させたり安全を確認めましょう。

踏切非常ボタンなど活用を

不幸にして踏切内でエンストしたり、落輪して車が動かなくなったら、自動車の移動より先に先ず列車を止めるようにしましょう。

献血車ゆうあい号がきます

●とき：二月六日(水) 午前10時～正午 午後一時～三時
 新栄信用組合本店裏

●とき：二月十三日(水) 午前10時～正午 亀田焼却場

●とき：二月十九日(水) 午後一時～三時 十分 スーパーウォエイ 亀田店

ママさんスキー教室開催

●とき：二月十五日(火) 午前九時 信組本店前集合 帰着予定：午後五時

●とき：二月十九日(火) 午前九時 胎内スキー場

●費用：二、五〇〇円

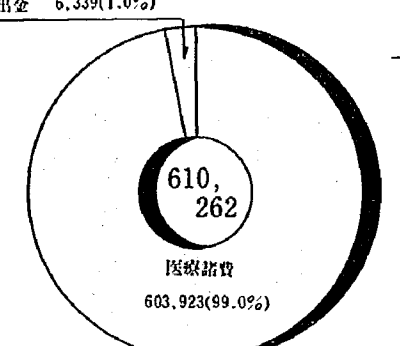
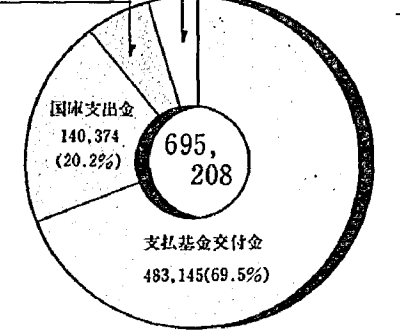
●定員：四〇人

●申し込み：二月十五日(金)までに教育委員会、公民館へ費用を添えて申し込みください。

※貸スキーを利用する方はこの時に申し込んでください。

老人保健会計決算の内訳 (単位：千円)

歳入総額 695,208
 歳出総額 610,262
 繰越金 6,336(1.0%)
 繰入金 30,200(4.3%)
 国庫支出金 140,374(20.2%)
 支払基金交付金 483,145(69.5%)
 国庫支出金 6,339(1.0%)
 医療諸費 603,923(99.0%)



決算の規模

歳入総額は、六億九、五二〇万八千円で歳出総額は六億一、〇二六万二千円で、歳入歳出差引で八、四九四万六千円が翌年度へ繰越します。

医療対象者数は、一、七二〇人で前年度に比べて三七人の増となりました。また、一人当たりの医療

歳入

歳入の主要財源である支払基金交付金は四億八、三二〇万五千円で歳入総額に対し六九・五割です。

国庫支出金は、一億四、〇三七万四千円で二〇・二

歳出

歳出総額は六億一、〇二六万二千円です。医療諸費は六億九、九二九万三千円は歳出の九九割を占めています。

医療諸費の内訳は、医療給付費が二五、〇〇四件で五億九、四七二万一千円、医療費支給費は四四九九件で

土地や建物を売ったときの税金

土地や建物を売ったときの利益は、譲渡所得といわれる所得と分離して課税されます。

分譲課税の譲渡所得は、譲渡した土地や建物の所有期間が、その年の一月一日において一〇年を超える場合の長期譲渡所得と、一〇年以下の場合の短期譲渡所得に分けられそれぞれ次の方法で税額を計算します。

長期譲渡所得は、通常の場合一〇〇万円の特別控除を差し引いた後の金額が四、〇〇〇万円以下の場合二〇割の税金がかかり四、〇〇〇万円を超えたと他の所得と総合して計算されます。

短期譲渡所得には、長期譲渡所得のような

七四八万円、審査支払手数料は二五、〇〇四件で一七二万二千円となっています。

諸支出金六三三万九千円は、五十七年度分の精算返還金として、支払基金三九八万八千円、国庫負担金一四四万五千円、県負担金四二万三千円および一般会計四七万八千円をそれぞれ支出しました。

一〇〇万円の特別控除はありませんが、四〇割以上の税金がかかります。

なお、自分が住んでいる家屋とその敷地を譲渡したり、取用対象事業のために土地等を譲渡したときには三、〇〇〇万円の特別控除があります。

所得税の確定申告は正しくお早めに

昭和五十九年度の所得税の確定申告と納税の時期がきました。所得税、住民税の確定申告期間は二月十六日から三月十五日までです。

亀田町では、二月二十一日から三月十四日まで、別紙日程表のとおり、町民会館で各種税申告相談を行いますから、指定された日においでください。

▼所得税の確定申告をした方は、事業税と住民税の申告を必要はありません。

「税務相談室へ」

税務相談室ではみなさんの、いろいろな相談をお受けするため相談所を開きます。どうぞお気軽にご利用ください。

●とき：二月六日(水) 午前10時～午後3時

●とき：二月二十一日(火) 午前10時～午後3時

●担当：関東信越国税局 税務相談員



「農業用軽油の」

免稅手續き

トラクターなどの農業用に使う軽油が免稅になります。

この免稅軽油を利用する人は、新津財務事務所へ免稅証の交付申請をしてください。

▽共同申請
 農協または軽油販売店がとりまとめた申請は、二月中に受け付け、三月中に免稅証を交付します。

▽個人申請
 三月中の毎週金曜日の午後には受け付けます。

※詳しくは、新津財務事務所(☎〇二五〇二一四)七一一へおたずねください。

「税務署からのお知らせ」

新湯税務署では、納税相談会場の混雑を緩和するため、二月一日から三月三十一日までの間、庁舎前にプレハブ会場を設置することになりました。

このため、駐車場のスペースがなくなりまして車の来客はご遠慮ください。

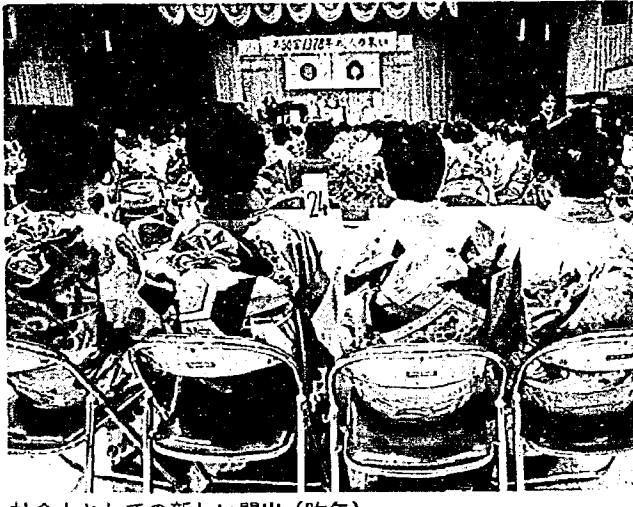
はばたく新成人三百五十九人

町の成人式は三月二十一日

ことしの新成人は、三百五十九人(男百七十八人、女百八十一人)で昭和三十三年四月二日生まれから、昭和四十年四月一日生まれまでの若人がお祝いを受けることとなります。

新成人紹介

県内外に居住し、成人式に参加希望の該当者は、二月末日まで教育委員会(内線五五)または公民館(電話二七二八)へ申し込みください。



社会人としての新しい門出(昨年)

33区	幸次 石本 隆	37区	ミッル 須藤真奈美	48区	芳三 岩船 芳治	52区	末吉 吉岡美奈子	23区	信男 渡辺 雅美
34区	武雄 遠藤 澄子	38区	昭男 今井 浩美	49区	又司 上野ゆかり	53区	達雄 阿具根英樹	24区	澄雄 渡辺 明
35区	源吉 小池 智子	39区	勝彦 笠原 豊博	50区	邦男 遠藤 良仁	54区	康 安楽 正義	25区	金治 藤田山美子
36区	朝子 小出恵利子	40区	一夫 田辺 弘子	51区	春松 近藤 浩	55区	大羽賀 亨	26区	藤田山美子
37区	敏夫 高橋 敏也	41区	清吉 土田志津子	52区	健一 高橋 京子	56区	幸雄 串田 里佐	27区	藤田山美子
38区	由次郎 田辺久美子	42区	貞雄 馬場 貞浩	53区	伸吾 山田みゆき	57区	一吉 坂井 松夫	28区	藤田山美子
39区	千代 弦巻 儀徳	43区	笑 皆川 修	54区	健一 高橋 京子	58区	義徳 坂本 里子	29区	藤田山美子
40区	松一 南場加奈子	44区	功 佐藤加代子	59区	龍男 中林 順司	60区	朝光 兼子 麻里子	30区	藤田山美子
41区	幸治 馬場 幸義	45区	丈夫 佐藤真由美	61区	二七 西山 行光	62区	正也 大谷 康子	31区	藤田山美子
42区	弘 山崎 弘和	46区	功 佐藤真由美	63区	左七 中山久美子	63区	正也 大谷 康子	32区	藤田山美子
43区	三藏 今井 伸一	47区	昭和 武田 昌	64区	龍男 中林 順司	64区	正也 大谷 康子	33区	藤田山美子
44区	武司 阿部 賢一	48区	昭和 武田 昌	65区	龍男 中林 順司	65区	正也 大谷 康子	34区	藤田山美子
45区	三藏 今井 伸一	49区	昭和 武田 昌	66区	龍男 中林 順司	66区	正也 大谷 康子	35区	藤田山美子
46区	三藏 今井 伸一	50区	昭和 武田 昌	67区	龍男 中林 順司	67区	正也 大谷 康子	36区	藤田山美子
47区	三藏 今井 伸一	51区	昭和 武田 昌	68区	龍男 中林 順司	68区	正也 大谷 康子	37区	藤田山美子
48区	三藏 今井 伸一	52区	昭和 武田 昌	69区	龍男 中林 順司	69区	正也 大谷 康子	38区	藤田山美子
49区	三藏 今井 伸一	53区	昭和 武田 昌	70区	龍男 中林 順司	70区	正也 大谷 康子	39区	藤田山美子
50区	三藏 今井 伸一	54区	昭和 武田 昌	71区	龍男 中林 順司	71区	正也 大谷 康子	40区	藤田山美子
51区	三藏 今井 伸一	55区	昭和 武田 昌	72区	龍男 中林 順司	72区	正也 大谷 康子	41区	藤田山美子
52区	三藏 今井 伸一	56区	昭和 武田 昌	73区	龍男 中林 順司	73区	正也 大谷 康子	42区	藤田山美子
53区	三藏 今井 伸一	57区	昭和 武田 昌	74区	龍男 中林 順司	74区	正也 大谷 康子	43区	藤田山美子
54区	三藏 今井 伸一	58区	昭和 武田 昌	75区	龍男 中林 順司	75区	正也 大谷 康子	44区	藤田山美子
55区	三藏 今井 伸一	59区	昭和 武田 昌	76区	龍男 中林 順司	76区	正也 大谷 康子	45区	藤田山美子
56区	三藏 今井 伸一	60区	昭和 武田 昌	77区	龍男 中林 順司	77区	正也 大谷 康子	46区	藤田山美子
57区	三藏 今井 伸一	61区	昭和 武田 昌	78区	龍男 中林 順司	78区	正也 大谷 康子	47区	藤田山美子
58区	三藏 今井 伸一	62区	昭和 武田 昌	79区	龍男 中林 順司	79区	正也 大谷 康子	48区	藤田山美子
59区	三藏 今井 伸一	63区	昭和 武田 昌	80区	龍男 中林 順司	80区	正也 大谷 康子	49区	藤田山美子
60区	三藏 今井 伸一	64区	昭和 武田 昌	81区	龍男 中林 順司	81区	正也 大谷 康子	50区	藤田山美子
61区	三藏 今井 伸一	65区	昭和 武田 昌	82区	龍男 中林 順司	82区	正也 大谷 康子	51区	藤田山美子
62区	三藏 今井 伸一	66区	昭和 武田 昌	83区	龍男 中林 順司	83区	正也 大谷 康子	52区	藤田山美子
63区	三藏 今井 伸一	67区	昭和 武田 昌	84区	龍男 中林 順司	84区	正也 大谷 康子	53区	藤田山美子
64区	三藏 今井 伸一	68区	昭和 武田 昌	85区	龍男 中林 順司	85区	正也 大谷 康子	54区	藤田山美子
65区	三藏 今井 伸一	69区	昭和 武田 昌	86区	龍男 中林 順司	86区	正也 大谷 康子	55区	藤田山美子
66区	三藏 今井 伸一	70区	昭和 武田 昌	87区	龍男 中林 順司	87区	正也 大谷 康子	56区	藤田山美子
67区	三藏 今井 伸一	71区	昭和 武田 昌	88区	龍男 中林 順司	88区	正也 大谷 康子	57区	藤田山美子
68区	三藏 今井 伸一	72区	昭和 武田 昌	89区	龍男 中林 順司	89区	正也 大谷 康子	58区	藤田山美子
69区	三藏 今井 伸一	73区	昭和 武田 昌	90区	龍男 中林 順司	90区	正也 大谷 康子	59区	藤田山美子
70区	三藏 今井 伸一	74区	昭和 武田 昌	91区	龍男 中林 順司	91区	正也 大谷 康子	60区	藤田山美子
71区	三藏 今井 伸一	75区	昭和 武田 昌	92区	龍男 中林 順司	92区	正也 大谷 康子	61区	藤田山美子
72区	三藏 今井 伸一	76区	昭和 武田 昌	93区	龍男 中林 順司	93区	正也 大谷 康子	62区	藤田山美子
73区	三藏 今井 伸一	77区	昭和 武田 昌	94区	龍男 中林 順司	94区	正也 大谷 康子	63区	藤田山美子
74区	三藏 今井 伸一	78区	昭和 武田 昌	95区	龍男 中林 順司	95区	正也 大谷 康子	64区	藤田山美子
75区	三藏 今井 伸一	79区	昭和 武田 昌	96区	龍男 中林 順司	96区	正也 大谷 康子	65区	藤田山美子
76区	三藏 今井 伸一	80区	昭和 武田 昌	97区	龍男 中林 順司	97区	正也 大谷 康子	66区	藤田山美子
77区	三藏 今井 伸一	81区	昭和 武田 昌	98区	龍男 中林 順司	98区	正也 大谷 康子	67区	藤田山美子
78区	三藏 今井 伸一	82区	昭和 武田 昌	99区	龍男 中林 順司	99区	正也 大谷 康子	68区	藤田山美子
79区	三藏 今井 伸一	83区	昭和 武田 昌	100区	龍男 中林 順司	100区	正也 大谷 康子	69区	藤田山美子
80区	三藏 今井 伸一	84区	昭和 武田 昌					70区	藤田山美子

33区	幸次 石本 隆	37区	ミッル 須藤真奈美	48区	芳三 岩船 芳治	52区	末吉 吉岡美奈子
34区	武雄 遠藤 澄子	38区	昭男 今井 浩美	49区	又司 上野ゆかり	53区	達雄 阿具根英樹
35区	源吉 小池 智子	39区	勝彦 笠原 豊博	50区	邦男 遠藤 良仁	54区	康 安楽 正義
36区	朝子 小出恵利子	40区	一夫 田辺 弘子	51区	春松 近藤 浩	55区	大羽賀 亨
37区	敏夫 高橋 敏也	41区	清吉 土田志津子	52区	健一 高橋 京子	56区	幸雄 串田 里佐
38区	由次郎 田辺久美子	42区	貞雄 馬場 貞浩	53区	伸吾 山田みゆき	57区	一吉 坂井 松夫
39区	千代 弦巻 儀徳	43区	笑 皆川 修	54区	龍男 中林 順司	58区	義徳 坂本 里子
40区	松一 南場加奈子	44区	功 佐藤加代子	55区	二七 西山 行光	59区	正也 大谷 康子
41区	幸治 馬場 幸義	45区	丈夫 佐藤真由美	56区	龍男 中林 順司	60区	正也 大谷 康子
42区	弘 山崎 弘和	46区	功 佐藤真由美	57区	龍男 中林 順司	61区	正也 大谷 康子
43区	三藏 今井 伸一	47区	昭和 武田 昌	58区	龍男 中林 順司	62区	正也 大谷 康子
44区	武司 阿部 賢一	48区	昭和 武田 昌	59区	龍男 中林 順司	63区	正也 大谷 康子
45区	三藏 今井 伸一	49区	昭和 武田 昌	60区	龍男 中林 順司	64区	正也 大谷 康子
46区	三藏 今井 伸一	50区	昭和 武田 昌	61区	龍男 中林 順司	65区	正也 大谷 康子
47区	三藏 今井 伸一	51区	昭和 武田 昌	62区	龍男 中林 順司	66区	正也 大谷 康子
48区	三藏 今井 伸一	52区	昭和 武田 昌	63区	龍男 中林 順司	67区	正也 大谷 康子
49区	三藏 今井 伸一	53区	昭和 武田 昌	64区	龍男 中林 順司	68区	正也 大谷 康子
50区	三藏 今井 伸一	54区	昭和 武田 昌	65区	龍男 中林 順司	69区	正也 大谷 康子
51区	三藏 今井 伸一	55区	昭和 武田 昌	66区	龍男 中林 順司	70区	正也 大谷 康子
52区	三藏 今井 伸一	56区	昭和 武田 昌	67区	龍男 中林 順司	71区	正也 大谷 康子
53区	三藏 今井 伸一	57区	昭和 武田 昌	68区	龍男 中林 順司	72区	正也 大谷 康子
54区	三藏 今井 伸一	58区	昭和 武田 昌	69区	龍男 中林 順司	73区	正也 大谷 康子
55区	三藏 今井 伸一	59区	昭和 武田 昌	70区	龍男 中林 順司	74区	正也 大谷 康子
56区	三藏 今井 伸一	60区	昭和 武田 昌	71区	龍男 中林 順司	75区	正也 大谷 康子
57区	三藏 今井 伸一	61区	昭和 武田 昌	72区	龍男 中林 順司	76区	正也 大谷 康子
58区	三藏 今井 伸一	62区	昭和 武田 昌	73区	龍男 中林 順司	77区	正也 大谷 康子
59区	三藏 今井 伸一	63区	昭和 武田 昌	74区	龍男 中林 順司	78区	正也 大谷 康子
60区	三藏 今井 伸一	64区	昭和 武田 昌	75区	龍男 中林 順司	79区	正也 大谷 康子
61区	三藏 今井 伸一	65区	昭和 武田 昌	76区	龍男 中林 順司	80区	正也 大谷 康子
62区	三藏 今井 伸一	66区	昭和 武田 昌	77区	龍男 中林 順司	81区	正也 大谷 康子
63区	三藏 今井 伸一	67区	昭和 武田 昌	78区	龍男 中林 順司	82区	正也 大谷 康子
64区	三藏 今井 伸一	68区	昭和 武田 昌	79区	龍男 中林 順司	83区	正也 大谷 康子
65区	三藏 今井 伸一	69区	昭和 武田 昌	80区	龍男 中林 順司	84区	正也 大谷 康子
66区	三藏 今井 伸一	70区	昭和 武田 昌	81区	龍男 中林 順司	85区	正也 大谷 康子
67区	三藏 今井 伸一	71区	昭和 武田 昌	82区	龍男 中林 順司	86区	正也 大谷 康子
68区	三藏 今井 伸一	72区	昭和 武田 昌	83区	龍男 中林 順司	87区	正也 大谷 康子
69区	三藏 今井 伸一	73区	昭和 武田 昌	84区	龍男 中林 順司	88区	正也 大谷 康子
70区	三藏 今井 伸一	74区	昭和 武田 昌	85区	龍男 中林 順司	89区	正也 大谷 康子
71区	三藏 今井 伸一	75区	昭和 武田 昌	90区	龍男 中林 順司	90区	正也 大谷 康子



「さいの神」まつり
一月十五日、砂岡三十三区補選会では、「さいの神」の行事が行われました。

58区	三男 小教 教晋	57区	敏夫 熊倉 敏英	56区	幸雄 串田 里佐	55区	大羽賀 亨
59区	一吉 坂井 松夫	58区	義徳 坂本 里子	54区	康 安楽 正義	53区	達雄 阿具根英樹
60区	正也 大谷 康子	55区	大羽賀 亨	52区	健一 高橋 京子	51区	春松 近藤 浩
61区	正也 大谷 康子	53区	伸吾 山田みゆき	50区	邦男 遠藤 良仁	49区	又司 上野ゆかり
62区	正也 大谷 康子	51区	春松 近藤 浩	48区	芳三 岩船 芳治	47区	ミッル 須藤真奈美
63区	正也 大谷 康子	46区	功 佐藤真由美	45区	丈夫 佐藤真由美	44区	昭和 武田 昌
64区	正也 大谷 康子	44区	昭和 武田 昌	43区	昭和 武田 昌	42区	昭和 武田 昌
65区	正也 大谷 康子	42区	昭和 武田 昌	41区	昭和 武田 昌	40区	昭和 武田 昌
66区	正也 大谷 康子	40区	昭和 武田 昌	39区	昭和 武田 昌	38区	昭和 武田 昌
67区	正也 大谷 康子	37区	昭和 武田 昌	36区	昭和 武田 昌	35区	昭和 武田 昌
68区	正也 大谷 康子	35区	昭和 武田 昌	34区	昭和 武田 昌	33区	昭和 武田 昌
69区	正也 大谷 康子	33区	昭和 武田 昌	32区	昭和 武田 昌	31区	昭和 武田 昌
70区	正也 大谷 康子	31区	昭和 武田 昌	30区	昭和 武田 昌	29区	昭和 武田 昌
71区	正也 大谷 康子	29区	昭和 武田 昌	28区	昭和 武田 昌	27区	昭和 武田 昌
72区	正也 大谷 康子	27区	昭和 武田 昌	26区	昭和 武田 昌	25区	昭和 武田 昌
73区	正也 大谷 康子	25区	昭和 武田 昌	24区	昭和 武田 昌	23区	昭和 武田 昌
74区	正也 大谷 康子	23区	昭和 武田 昌	22区	昭和 武田 昌	21区	昭和 武田 昌
75区	正也 大谷 康子	21区	昭和 武田 昌	20区	昭和 武田 昌	19区	昭和 武田 昌
76区	正也 大谷 康子	19区	昭和 武田 昌	18区	昭和 武田 昌	17区	昭和 武田 昌
77区	正也 大谷 康子	17区	昭和 武田 昌	16区	昭和 武田 昌	15区	昭和 武田 昌
78区	正也 大谷 康子	15区	昭和 武田 昌	14区	昭和 武田 昌	13区	昭和 武田 昌
79区	正也 大谷 康子	13区	昭和 武田 昌	12区	昭和 武田 昌	11区	昭和 武田 昌
80区	正也 大谷 康子	11区	昭和 武田 昌	10区	昭和 武田 昌	9区	昭和 武田 昌
81区</							

豪雨時の排水対策 亀田郷湛水防除事業

土地改良事業として行なわれてきた排水事業は、農業生産基盤のために整備されてきた。古い時代は堤防による外からの水の防衛が主体で、その後堤防内の水の排除を主目的とする段階へと進みまし。

現在では、農産物の需給状況の変化に対応できるよう、水田の排水改良すなわち水田の高度利用へと展開していき。

しかし、幹線排水路は地盤沈下の対策として整備されたもので、水田の高度利用へは対応できません。また、農業排水路は住宅などの排水を受け入れるという下水道的な役割も併せてもつています。さらに、都市化の進展と農村部の市街化により、地域の排水路として重要な役割を担っています。

昭和五十三年の大雨では農地面積の三〇％におよぶ浸水被害が生じています。亀田郷の地形は、一部の砂丘地を除くと低平な湿地帯であり、農業排水路を地域の幹線排水路として機能するよう全面的に改良する必要があります。

町では、新潟市、横越村、亀田郷土地改良区と協力して亀田郷地内の浸水被害を防止するため昭和六十年度から県の事業として排水事業を採択してもらおうと申請しています。

- 構想の概略は、中部地区本所と蔵岡に排水機場を新設するとともに幹線排水路を改良して豪雨時に一時的に増大する排水量を地区の上流側で阿賀野川へ排除して農地・住宅地の浸水被害を防止しようとするものです。この事業を実施するためには、関係する農家のみなさんの同意が必要で、このため、関係者が説明にいそまいますので、ご理解とご協力をお願いします。
- ▽工事の着手
昭和六十年度から工事着手の予定
- ▽主要工事
・排水機場新設：本所・蔵岡排水機場
・排水路改修：本所・糸魚堀排水路外八路線
- ▽事業費
約百億円程度で財源内訳は国費六〇％、県費三〇％、関係市町村費一〇％の予定です。

講座名	開催日	講師	時間
道講座	8日、15日、22日(各金曜)		午後7時～9時
ダンスクラブ	4日、18日、25日(各月曜)		午後7時～9時
卓球クラブ	6日、13日、20日、27日(各水曜)		午前9時～12時
民謡クラブ	4日、25日(各月曜)		午前10時～12時
書道クラブ	12日、19日、26日(各火曜)		午前10時～12時
紙クラ	8日、22日(各金曜)		午前9時～12時
絵画クラブ	4日、18日(各月曜)		午前10時～午後4時
謡曲クラブ	1日、15日(各金曜)		午後1時～4時
コーラスクラブ	5日、19日、26日(各火曜)		午前10時～11時30分
芸クラ	9日、23日(各土曜)		午後1時～4時
陶芸	1日、8日、15日、22日(各金曜)		午後6時～8時
詩吟	10日(日曜)		午後1時～4時
湯	13日、27日(各水曜)		午前10時～午後4時
茶	12日、26日(各火曜)		午前9時30分～午後4時
粘土	7日、21日(各木曜)		午前9時30分～午後2時
教	6日、13日、20日、27日(各水曜)		午後7時～9時
休館日	3日、11日、17日		

先号「名工角五郎」の項で、亀田郷は佐五郎の作で、当寺欄間彫り物の一部が角五郎の作であると読者よりご指摘があり訂正します。ご指摘者に感謝します。

〔二月の水道休日当番業者〕
休日の水道管の破裂、漏水には次の公認工事店へ連絡してください。
(受付時間：午前八時から午後五時まで)

- 二月三日：新和設備工業所 ☎(01)50116
- 二月十日：(株)スイコウ設備 ☎(02)六七三六
- 二月十一日：風間建設工業(株) ☎(01)四九六二
- 二月十七日：(株)佐藤工業所 ☎(01)三五〇七
- 二月二十四日：高木設備工業 ☎(01)三四八四

風には批判的であったため新築田舎からは忌避されてきた。先生は無用の人たることを恥じ、道学先生になることを嫌われた。経済学を好み、大の勤王家で水戸学を鼓吹されたが、その欠点もよく批判された。

当地在住の間は、四方からの学者・文人の訪問絶えず、遠くは会津や出雲からも錚々たる客も訪れた。門人は常に十余人で、十有余年間ここで教えられた。町内からは佐々木松坪、島山八十郎、大倉十郎、島山嘉三、村木鉄三郎、片山恭平、梅田竹翁、藤田寛次郎など、維新期、明治期の人傑を生んでいる。

明治二年村松藩は青城の学才をみとめ、招いて藩の

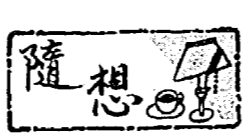
町史編さん室 だより

青木青城
名は邦光、通称三之丞、号ははじめ蘭村の青城といふ。父青木弘安は曾川の社講で、寺小屋を開き、また藩侯に進講し儒者としてその名を知られていた。青城は文政七年(一六〇年前)その長男として生まれ、二十五歳にして大阪の藤沢東洋に学び、二年に

て帰郷、父を助けて家塾の経営にあたり、安政の頃亀田に塾を開く。氏を亀田に招いたのは梅田順亭(竹翁の父で医師)と島山鳴郷(八十郎)であった。安政五年(一八二七年前)江戸に出て修業、しばらくして再び帰郷し大倉息隠の敷地に、弟子の拠金で塾を建てた。その弟子で熱烈な援助者であった息隠の思い出の中に「先生は立派な容貌で華族風であり、しかも眼光鋭く人を射るようであつたが、人を容れる雅量もあつた。しかし藩の学



釈迦涅槃図(長谷部松平氏蔵)



随想

本町二丁目 宮腰清

教育を受けたが、近郷からの召集兵もおり、いつとはなしに私が医者だといふ事がわかり、いろいろ助けてくれた。

毎晩の点呼の後の内務班教育で、皆散々校られたが、最後に私の所に質問が廻ってきて、それに答えて終りとなる事が多かった。

約三週間経つと軍送準備員採用の通知を受けて、仙台第四連隊に転属となり、即日座金付伍長に任官。そのところで二週間余り下士官教育を受けた。

その後、陸軍病院へ十日余り余備員教育に通つて、召集解除となり家に帰つた。三か月教育が約半分済んだ。

これが運の良かった第一である。

第二回目の召集を受けたのは十九年二月だつた。あらかじめ覚悟していた事で動揺はしなかつたが、私は原隊が新築田であつたので隊付きに編成され、苦勞を覚悟しながら部隊と一緒に雷の朝新築田駅より北方に向かつて出発した。

行会を開いてもらった仲だつた。

先生は長く召集されておられ、最後には飯坂温泉の療養所長となられ、相撲の好きな先生は土俵を作つて、兵士の体力向上に務められた。もう召集はないだろうと見極めてから除隊されたのだといふことを聞いていた。

それが北方の守りが再検討され、改めて大召集が行われ、何か月も家にいられず、再び入隊して来られたのだつた。

後日、小樽で先生を宿舎に尋ねて行った時、ちょうど寺倉師団長の乗船を見送りに出られる所であり、同道して港に向かった。

道々話に元気がなく、召集はないと思つていたので、今度の水のテンブラになるかもしれないと言つておられ、嫌な感じがしたものだつた。

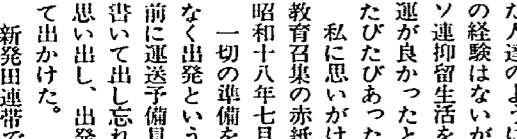
約一週間の間に各部隊はそれぞれ機団を組み、順次乗船して小樽を離れ津軽海峡を通過して太平洋を北に向かった。(つづく)

電話権公売のお知らせ
と き 昭和60年2月7日 午前10時
と ころ 亀田町役場第1会議室
公売方法 入札

児童手当
二月十二日に
口座へ振込み
昭和五十九年十月から六十年一月までの児童手当を二月十二日に各自の口座へ振込みますのでお知らせします。

俳句
雪道を二度ころびたる不覚かな
羽子つくや見てる兄をちらと見て
追羽子の十を数へて高くつく
かくも雪深き里まで子を産みに
ザク／＼と切り冬葱の太かりし
寒木瓜や眼を病み籠りあると云ふ
寒木瓜のほころび客のよく笑ひ
面取れば若き母親寒稽古
花の束胸にかかへて御慶かな
御仏のお華も換へて小正月
句屏風を今日の句会のもてなしに
装ひの蝶のブローチ小正月

長谷川 耕 畝
永松 西 瓜
大山 清治郎
高橋 向 山
山田 フミ子
熊倉 静子
佐藤 妙子
高橋 ムツ
堀内 きみい
五十嵐 みつ子
村尾 ひな
田村 和子



随想

何か書いてくれといわれ、改めて過去を振り返つてみても、ほとんど町から出たことがないので、まったく体験もない。

考えたあげく、ついに軍隊に行つて経験した事を書くことに落ち着いた。

ただし、ほかに召集された人達のように凄惨な戦いの経験はないが、召集からノ連留留生活を含めて私は運が良かったと思つた。たまたまであった。

私に思いがけなく三か月教育召集の赤紙がきたのは昭和十八年七月だつた。

一切の準備を終えても、なく出発という時に何年か前に運送予備員の志願書を置いて出忘れていたのを思い出して、出発前に投函して出かけた。

新築田連帯では、初年兵

青函連絡船を降りたのは夜だつた。

函館は猛吹雪で内地の寒さと違い、身を切るように痛烈で、埠頭の街灯の裸電氣の廻りに粉吹雪が夏の蛾のように舞い狂つていたのを今でも覚えている。

まもなく乗車、何時間後にか小樽に着いた。

坂の多い街だつた。翌日、街を歩いてみると至るところに出征兵士が溢れていた。

ある日、街で赤十字の腕章をつけた見習い士官の一人に会つた。

中に予備員時代の顔見知りもあり、立話をしながら彼らは第四野戦病院の要員であり、二十名余のこと。随分羨ましくも思つたが、これが最後の別れとなるのは、夢にも思わなかつた。

第四野戦病院の院長は、当時石山村に開業しておられた田村先生だつた。

田村先生とは往診先や医師会で、何度かお会いして相撲や刀剣の話をよく聞いたもので、今度の出征に当たつて、海老倉と一緒に壮

講演会のお知らせ
と き 二月七日(木)
午後一時三十分から
と ころ 亀田町公民館
◎テーマ：夫婦の絆
◎講師：相馬英夫 先生
◎主催：亀田町婦人会 亀田町明るい選挙推進委員会

短歌
栗田ひとみ
細き雨銀の糸引き水面に吸へ込まれ行くをあかず眺むる
大塚 ヨネ
気の重き仕事片づけ海の色をたたへし魚市にあがなふ
本間 笑子
年の瀬の買物終へて降りつづく雪道誰も無言に歩く
塩井 三作
人ならば頭の部分を雪のたぬめ地につく竹の秀びしびし叩く

齊藤 吉江
燃ゆるもの裡に待たざる吾れなれどつつがなく又除夜の鐘きき
田村 忠雄
こもり住む家を日毎に埋めゆく雪を受ければ手の平に消ゆ
岩瀬 房枝
奔放に躍りたらむを銀の鮭塩抜きさるる水に横たふ
本園 とし
諸々の想ひを秘めて燃ゆる火にするめ焼きつつ除夜の鐘きき
坂爪 ナツ
バスの窓身を乗り出して里の家の雪積むさまを見て通り過ぐ

